

## 開会挨拶

ヨーロッパ・チュチェ思想研究会書記長  
マッテオ・カルボネリ

親愛なチュチェ思想研究者のみなさん

親愛な友人のみなさん

この会場には、直接に参加された方々の他に、すでに多くの招待された参加者の方々がオンラインでお見えになっています。ですので、いまから、本国際セミナーを始めることができますと思います。

みなさん、おはようございます。または、みなさんの現地時間をふまえて「こんばんは」と申し上げます。真夜中の時間帯であるにもかかわらず、ご参加いただいている方々もいらっしゃいます。このことは、みなさんの本セミナーへの関心の高さを示すものであり、わたしは、心より感謝申し上げます。

この会議には、さまざまな理由でローマに到着できなかったオンラインの参加者だけでなく、難題があったにもかかわらず、多くの方々が集まってくださいました。このことはまた、みなさんの本セミナーへの関心の高さを示す、もう一つの事例であると思います。

本セミナーを開始するにあたり、なによりもわたしは、オンライン会議の方法だけでなく、コロナ禍を乗り越えて、わたしたちがようやく直接会う方法で集まりをもてることを、本当に嬉しく思います。

わたしは、すべてのみなさんに歓迎と感謝の意を表します。みなさんの参加は、朝鮮民主主義人民共和国創建 75 周年にさいして開催された本セミナーに重要な意義を付与するものです。また、みなさんの参加により、本セミナーのテーマ「自主と主権、社会発展」に関する議論がさまざまな角度から深められるでしょう。本セミナーのテーマは、朝鮮民主主義人民共和国創建後の 75 年間に達成されたすばらしい成果を反映させたものでした。また、こんにちの国際情勢と密接にむすびついたテーマであり、本日おこなわれるみなさんのスピーチにおいても言及されることでしょう。

セミナーには、すでに世界中から多くの原稿が寄せられています。セミナーの時間は限られていますので、残念ながら、ごくわずかの方にしか発言の機会がありません。そのようななかでも発言予定者以外の方の原稿は、部分的ですが会場

で配布されています。いずれにしても、みなさんの原稿はみな、チュチェ思想国際研究所に集められることになります。

本セミナーには、朝鮮社会科学者協会から、また、アジア・チュチェ思想研究所、アフリカ・チュチェ思想研究委員会、ラテンアメリカ・チュチェ思想研究所、ヨーロッパ・チュチェ思想研究学会という、チュチェ思想の地域研究所から祝賀メッセージが寄せられています。わたしは、あらかじめこのことを申し上げておきます。

時間の制約性上、わたしは、これらの祝賀メッセージをここで読み上げることはしません。ただ、これらのメッセージは、本国際セミナーが開催にいたったことを心より祝賀する、とても温かいメッセージです。そして、朝鮮人民が達成した成果を称賛しながら、これらの成果はチュチェ思想と先軍政治によるものであり、朝鮮人民の経験が自主と主権、社会発展を願う世界のすべての人民にとっての模範となりうると強調しています。

朝鮮民主主義人民共和国は、これから何日かした75年前の1948年9月9日に創建されました。セミナーに寄せられたすべての原稿は、朝鮮民主主義人民共和国が創建されたときからこんにちにいたるまでに、朝鮮人民がおさめた重要な成果を想起させるものです。

朝鮮民主主義人民共和国の創建自体が、朝鮮人民が、植民地的なくびきから国を解放するための長期にわたる闘争を経て勝ち取った歴史的なできごとでした。それはまた、金日成主席が朝鮮の実情と経験を考察して創始したチュチェ思想に徹底してもとづいてくりひろげられた、朝鮮人民の勝利した闘争の結実でした。

チュチェ思想は、人間が自己の運命の主人であり、社会的存在であることを明らかにしています。そのうえで、チュチェ思想は、自らの力に依拠して革命を成就させるための民衆の役割と、人間の需要を満たす社会主義制度を実現するための民衆の役割を明らかにしています。

ここに自主性の本質があります。すなわち、自主性とは、人間、民衆の自主性であると同時に、国と民族の自主性を意味します。そして、人間、民衆の自主性、あるいは国と民族の自主性は、社会主義的施策が実施される制度のもとで発揚される「主権」と密接に結びついてのみ、実現することができます。

チュチェ思想を適用することにより、朝鮮人民は、社会的な獲得物を発展させながら、軍事的な侵略や不当な制裁をはじめ、経済的な圧力という帝国主義の攻撃から国をりっぱに防衛することができました。

かつて外国の支配下におかれていた国が、短い期間に、核武力をはじめ強力な国防力を備えた国へと、帝国主義がもはや無傷では攻撃することができない、自

主的で現代的な発展した国へと変貌を遂げたことは本当に驚くべきことです。朝鮮ではまた、翼を持ち、一日に千里を駆けるという伝説の馬、千里馬の速度で、市民生活を豊かに彩るさまざまな成果が達成されました。かつてはまだ封建制が色濃く残っていた国が、そのような先進的な社会主義制度に改造されたということは、実に驚くべきことです。

朝鮮でおさめられた成果は、チュチェ思想と先軍思想の正当性と生活力を示すものです。チュチェの思想理論はまた、民衆の意識性に はたらきかける思想理論であるがゆえに、ソ連・東欧諸国における社会主義が帝国主義の策動により崩壊したときにも、朝鮮人民が、自己の自主と主権、社会制度を発展させ、固守することを可能にしました。

このような状況のもとで、世界ではますます多くの人々が、朝鮮の経験に関心をいだくようになっていきます。それは、ますます多くの人々が、支配と干渉のない新たな世界秩序を確立し、真の自主と主権、社会発展の実現を願うようになっているからです。

各国人民の目標を達成するうえでの有効な手段として、チュチェ思想と先軍思想が世界中でいっそう深く学ばれるようになっている理由は、ここにあります。

チュチェ思想研究者としてのわたしたちの任務と役割は、チュチェ思想を深く研究し普及することです。

開会のあいさつでおこなうべきことは、みなさんにセミナーの概要をお伝えすることでしたので、わたしのあいさつはここで終わります。いまからおこなわれるみなさんのスピーチにより、わたしは、セミナーのテーマがさまざまな角度から深められるものと確信しています。

ありがとうございました。